

いわき民報
社址 平土町五番
電話 二〇二番

炭鑛勞務充足の大評定

西は關西から北は北海道迄
あらゆる關係諸團體も網羅

石炭の増産は等數百名招いて二十一
先づ勞務者の年度第四、四半期の勞
充足から比炭産では務充足の徹底化について各
厚生省と協力全國を、て指示協議、ついで各
二、班に分けて石炭増産の事業状況を始め
産務務充足緊急協議會勞務輸入態勢、その他
を準備する事、なご第施設、對策、稼働状況
を準備する事、なご第施設、對策、稼働状況
を準備する事、なご第施設、對策、稼働状況

縣農委當選者

郡の澤田吉野兩氏も
縣農地委員選舉は二十
五日執行、二十六日開
票を終つたが第二區の
結果は左の通りで郡下
からは地主及び小作者
に各一名宛の代表を出
した、郡の當選者は田
人村の澤田源次氏(地
主)と好間村の吉野義
也氏(小作)で大野元
次郎(草野 小作)高
萩凱(箕輪 小作)の
三氏は落選した、
▲小作當選一三六郡

六日に再會見

小名濱臨鐵議の
勞資協定纏らさず

昨年の小名濱臨鐵道三十萬からの赤字が出小名濱のビストル犯人
争議問題につき去る二の見込みでの賃金で八戸市生れ角五郎(二
十五日平働勞しよと討はやりたくも待遇ははるの後悔等の手掛り
決の結果、會社側は二實際的に出来かねるともないが平しよではど
年六月から十一月まで會社の窮状をさらけ出さかか漁船に乗つての
に九萬圓、又全年十一月の拒否に勞組側もものと判定、關係各
月から本年の五月まで同情はするがさりとて濱漁村方面に指名手配
に引續かると推算すると現状では生活の最低もをした

新鐵道運賃決定

國鐵道賃が三
四(三十圓)▲一等七泉
十圓(六、四)と決ま植田
つた、各線の運賃左
の通り(單位錢)
常磐線
南中郷 四、三
磯原 三、〇
關本 三、〇
平小線
平一 小名濱六九〇平
御代四八〇平一 走熊
二七〇平一上矢田二
三〇小名濱四六〇小
名濱一 走熊二二〇小
若濱一 御代二二〇御

石炭のヤミ

檢舉百四十九件
惡質十一件送局

縣藥業小賣統制組合平
支部も協同組合法によ
つて藥業小賣協同組合
宅地、家賃賣給旋
龜田屋商會
平市三丁目
赤井 一、〇
小川 一、〇
川前 一、〇
夏井 一、〇
新野 一、〇
神保 一、〇
大越 一、〇
警城 一、〇
常葉 一、〇
船引 一、〇
三春 一、〇
藤木 一、〇
藤山 一、〇
福島 一、〇

各漁村に

指名手配
犯人角三五郎

鐵道運賃の値上げに伴
つてバス料金を三月一
日から一割に値上げさ
れることに決つたが郡
下各路線の新賃金は左
の通り(單位錢)
▲ゆめ本線
平一 江名七三〇平一
豊間五八〇平一 薄磯
五〇平一 下高久三
九〇平一 中山一八〇
江名一 中山五七〇江
名一 下高久三四〇江
名一 薄磯二四〇江名
一 豊間一七〇豊間一
下高久二〇〇豊間一
薄磯八〇薄磯一 中山
三四薄磯一 下高久
二二〇下高久一 中山

バスも値上げ

各路線新料金表
代一上矢田二六〇御
代一 走熊二二〇走熊
一上矢田二五〇
●片濱線
平一 江名七三〇平一
豊間五八〇平一 薄磯
五〇平一 下高久三
九〇平一 中山一八〇
江名一 中山五七〇江
名一 下高久三四〇江
名一 薄磯二四〇江名
一 豊間一七〇豊間一
下高久二〇〇豊間一
薄磯八〇薄磯一 中山
三四薄磯一 下高久
二二〇下高久一 中山

中小企業家に急告

基礎産業の急激なる生産低下。原料資材ストロクの徹底の欲乏と
ンフレの驚異的な上昇進展等産業經濟組織の基本的破壊の諸条件
の露呈は世界的にも稀有な相模と見ねばならぬ、然も直前に
の露呈は世界的にも稀有な相模と見ねばならぬ、然も直前に
の露呈は世界的にも稀有な相模と見ねばならぬ、然も直前に
の露呈は世界的にも稀有な相模と見ねばならぬ、然も直前に

福島縣中小企業連盟準備委員會

現在争議中の會社は申込と同時に争議内容を至急報告されまし
一月十五日
平市田町五番地
福島縣中小企業連盟準備委員會
準備委員
猪狩鑄造工業株式會社 猪狩 四郎
第一通信工業株式會社 正木昌次郎
新屋硝子工業株式會社 駒木根忠敬
平木工株式會社 佐藤幸太郎

開業御挨拶

この度レントゲンを新設し左記に開業
いたしました今後とも一層の御交誼を
お願い申上ます
平市二丁目四九(公會堂通り)
レントゲン科 谷口孝雄
レントゲン科 谷口孝雄
電話 八番

いわき民報社
用紙事情の逼迫と工場の機械据付けのた
め當分の間毎週 火、金、の二回は現在
のタブロイド型半紙を發行致します

